

## 甲斐市教育委員会第2回定例会議事録

- 1 日 時 平成28年5月31日(火)
- 2 場 所 甲斐市役所 新館2階 教育委員会会議室
- 3 開 会 午前9時25分
- 4 出席者 **【教育長】** 西山豊教育長  
**【委員】** 清水學職務代理者、長田明美委員  
新海宏子委員、柳本博美委員  
**【説明員】** 生山勝教育部長、望月映樹教育総務課長  
内藤和彦学校教育課長、保坂江里生涯学習文化課長  
梅原剛スポーツ振興課長、剣持豊彦図書館長  
坂本公彦学校教育指導監、久保欽一教育総務係長  
河野晴美教育総務係
- 5 欠席者 なし
- 6 傍聴人 なし
- 7 前回議事録の承認 平成28年度 第1回定例会議事録 「承認」
- 8 教育長からの報告
- 9 議 題  
第1号 平成28年度甲斐市立小中学校学校評議員の委嘱について  
第2号 甲斐市立小中学校教職員私用自動車の公務使用規程の一部改正について
- 10 その他  
(1) 平成27年度創甲斐教育推進事業の進捗状況について  
(2) 学校基本調査集計表について  
(3) チャレンジデー2016の結果について  
(4) 平成28年度甲斐市立図書館特別整理期間について  
(5) 6月の行事予定について
- 11 閉会 午前11時5分

○開 会

望月課長 開会を宣する。

○あいさつ

委 員

みなさん、おはようございます。

新年度が始まって2回目の教育委員会です。

最近、気が付いたことを何点かお話しさせていただきます。

まず、第1点ですが、過日の山梨県内の全教育施設への爆破予告には驚きました。

このことについては、事務局はじめ、学校においては、緊急の点検あるいは安全対策等について大変お疲れ様でした。

今のところは異常がないということですが、31日の3時34分までという状況の中で、何もなければよいと思っています。

今後も安全確保ということに目を向けていきたいと思っています。

2番目ですが、過日、関東甲信越静教育委員会連合会に教育長とともに出席させていただきました。

28年度の総会、そして研修会等がございましたが、総会等はスムーズに流れ、研修会については局長のお話がありました。

中身について簡単に申しますと、新教育委員会制度について、教育再生の実行会議等についての話などが出ておりました。

私が最終的に感じたことですが、教員、学校はもう少し地域社会に根ざしていくということも必要だということ、そのためには教員の力もあるわけですが、それをフォローするような体制づくりが必要ではないかということを感じました。

それには、双葉西小のコミュニティスクール等で地域との連携が進められていますが、他の学校もこういうような形で地域との連携を図り、学校、教員だけで指導していくのではない、みんなで指導していくという認識を持たなければいけないのかなと感じました。

修学旅行の話になりますが、中学校はすべて終わったのでしょうか。小学校はもう1校、残っているのでしょうか。そんな背景がございまして、それぞれの学校で、修学旅行の目的が達成されたのではないかなと思います。先生方、ご苦労様でした。

それぞれの学校の課題というものがあつたかもしれませんが、特に

大きな問題もなく終わったと思われます。中学校は特にですけど、小学校6年生にとってはこの修学旅行で行動し、しかも遠いところで連泊するということは、なかなか経験ができないことで、これを先生方の指導のもとで実施できたということは、基本的にはすごく貴重な経験で、成長の土台を作り上げてきたのではないのかなと感じました。これが大きな修学旅行のベース、土台ではないかなと思っております。益々期待をしたいと思ひます。

最後になりますが、いよいよ明日から学校訪問が始まります。明日は竜王西小学校ですね。我々としましては学校の現状を把握して課題、情報を共有することが、すごく大切なことと思っております。訪問することにより、教育内容の充実と向上、そして施設設備等の改善に大きく関わることになるかなと思ひます。いずれにしても、教育現場と教育行政がより密接な連携を図っていくというなかで、創甲斐教育の充実を図っていきたくと思っております。是非、みなさんで頑張っていきたいと思ひます。

## ○教育長報告

教育長

それでは、5月の諸報告をさせていただきます。1ページをご参照願ひします。

まず、5月4日に、Jリーグ一部のヴァンフォーレ甲府と柏レイソルとの試合が、甲斐市のサンクスデーとして実施されました。試合前のセレモニーや観戦で、市長を先頭にみんなで応援したのですが、相手のサポーターもすごい迫力で、結局、熱戦の結果2対0で敗れてしまいました。今後の健闘を期待したいと思ひます。

9日には学校連絡会16校会がありました。都市教育長協議会の第1回理事会の時の文科省の行政説明と、人事評価についての話をしました。

11日には第66次中巨摩春季教育研究会が南アルプス市の橈形体育館で行われました。会が始まる前に、今年度新採用となった先生方が自己紹介と思いを述べたのですが、それぞれの先生の個性と意気込みがしっかりと伝わってきて、これから始まる教職への前向きな姿が感じられました。今年度の中巨摩地区の新採用の教職員の数は38人で、教諭が34人、事務職員が4人でした。中巨摩地区を支える教職

員になってほしいと思いました。

この日の午後、中部ブロックB&G連絡協議会総会が中央市の玉穂生涯学習館で行われました。総会議事のほか、B&G財団の事業説明、施設別利用者人数ランキングベスト10の表彰などが行われました。

12日、13日には平成28年度関東地区都市教育長協議会総会が埼玉県さいたま市で行われました。甲斐市は昨年に引き続いて山梨の会長ですので理事会から参加しました。総会に続いて、第1分科会教育行財政では甲府市が発表、笛吹市が司会、甲斐市が記録で山梨県が直接運営に関わりました。

16日の午後は、甲斐市租税教育推進協議会が、新館2階の防災対策室で行われました。甲斐市の教育長がこの会の会長ということで、あいさつをいたしました。教育関係者と税務関係者が連携して、児童、生徒に対して税の意義や役割、納税の義務などについて理解を深めるといった目的で会議が進められ、本年度の事業計画などが提案されました。また、税務署や税理士会、甲府法人会などの取り組みの報告などが行われました。

18日から20日まで、第68回全国都市教育長協議会の定期総会研究大会が徳島県徳島市で開催されました。全国の理事ということで18日の理事会からの参加でした。2日目は午前中総会で、事業報告や予算審議の後、文部科学省の講話と行政説明などがありました。午後から分科会となりました。今年の厚木大会では甲斐市が分科会発表ということで大変だったと思います。今年度は学校教育の分科会に参加しました。学校の教育力向上を図るチーム学校への取り組みをどうするか。教員の資質の向上をどうしていけばよいか。松山市と伊予市の事例発表。指導力に欠けた教師をどのように対応していけばよいかなどいろいろな発表や意見を聞き、実りの多い研修となりました。

24日の午後7時から、甲斐市国際交流協会の総会が開催され、27年度の決算や28年度の事業計画、予算案、役員改選などが承認されました。

今年度は、姉妹都市であるキオカック市から友好交流団を7月22日から8月2日まで受け入れ、8月11日から8月22日まで、オーストラリアのタラマラハイスクールへの交流団を送ることとなっております。そのほか、甲斐市内に住む外国人居住者に国際理解の促進や、

多文化が共生できる地域社会に寄与するような各種事業が予定されております。

それから25日には、ご承知のとおり今年で7回目のエントリーとなりますチャレンジデーに参戦いたしました。

対戦相手は、秋田県の大館市でしたが、甲斐市の積極的な取り組みと各方面のご協力により勝利しました。後ほど、改めて担当から報告させていただきます。

26日10時より、行政連絡調整委員の委嘱式が行われました。

市では、自治会長さん方を行政連絡調整委員として委嘱し、市と地域のパイプ役としてご活躍をいただいておりますが、新たに自治会長になられた行政連絡調整委員の方に市長から委嘱状が交付されました。

また、席上、市の幹部職員の紹介などがあつたほか、甲斐市自治会連合会の総会が併せて開催されました。

26日の午後1時より、甲府市のぴゅあ総合で行われた、教科用図書選定審議会に参加しました。特別支援教育の教科用図書選定の審議会、事務局から出された案について実際の教科用図書をみながら選定について話し合いが行われました。

27日には、平成28年度関東甲信越静教委連合会総会と研修会が、八王子市のオリンパスホール八王子で行われ、職務代理の清水教育委員と参加しました。総会に続いて文部科学省の講和とスポーツ庁の記念公演が行われました。

当日の午後6時より、第35回退職者感謝激励集会在白根桃源閣で行われました。平成27年度に退職された教職員に対し、感謝、激励をすることを目的とした集会で、中巨摩の各学校の先生方や関係機関の代表者の方々が参加しました。

29日7時30分より、支部対抗ソフトボール・バレーボール大会が、双葉スポーツ公園等で行われました。開会式では市長に代わってあいさつを行いました。

9時から、第47回全国ママさんバレーボール大会県予選会が敷島体育館で行われました。県内6つの各ブロックから勝ち上がってきた8チームでの全国大会出場をかけた大会で、質の高い勝負となりました。激戦の結果、甲西大明チームが優勝し、福島県で行われる全国大会出場を決めました。

本日31日には、第2回定例教育委員会が行われています。

以上、5月の諸報告とさせていただきます。ありがとうございました。

○議 題

第1号 平成28年度甲斐市立小中学校学校評議員の委嘱について  
事務局 (別冊資料説明)  
教育長 ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。  
一 同 異議なし。原案のとおり承認します。

第2号 甲斐市立小中学校教職員私用自動車の公務使用規程の一部改正について  
事務局 (資料説明)  
教育長 ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。  
一 同 異議なし。原案のとおり承認します。

○その他

(1) 平成27年度創甲斐教育推進事業の進捗状況について  
事務局 (資料説明)  
委 員 特別支援教育の充実についてですが、中学が60%というのはあくまでも通常学級での中での個別指導計画の作成がここに至っていないという数値なのでしょうか。  
事務局 通常学級を含めてということです。  
委 員 その前は100%だったということですか。  
これは、どういうことなのでしょう。  
事務局 状況的に非常に難しいお子さんも入っているということもあったり、逆に指導計画を作成するまでもないというお子さんもいるということがあるのではと思います。以前100%だったものが60%に落ちたという理由についてはまだわからないですけど、子どもたちの状況からするとその2つが考えられます。  
教育長 いずれ分析をしたらわかりますか。  
事務局 中学校の要支援の子どもや、特別支援学級に在籍していた子どもたちが進級とともに通常あるいはその逆の学級になるなかで、どういう作成をしていくか、なかなか難しいお子さんも多いのではないかなと思うので、見ていくとわかっていくのではないかと思います。

教育長  
委員

数値だけでは出てこない内容があるということですね。

個別の教育支援計画ですが、これは学校独自のものではないので、生まれた時から現在までのプロセスの中でこういう計画を立てるということで、これがうまくいっているということはそれだけ関係を持ってやっているということでしょうか。

事務局

外部の機関との相談、市の子育て支援課の相談員、医療関係などと学校ではケース会議を開いて対応しています。先般も学校の方に地区ごとに要支援の子どもがどんなふうに今対応しているかという報告書が回りましたが、非常に環境的に厳しい子どもが多く、どのように支援していくかということを各学校で熱心に苦勞しながら取り組んでいるところかと思えます。

教育長  
事務局

環境の数値ですが、市の資料も含めてとはならないでしょうか。

指標が、今は県のプログラムのみとなっていますが、市の資料も活用ということが入るとだいぶ数値が上がります。県のものほんとは少ないのです。中学年向けにエネルギーとは何か、高学年向けに発電とか地球温暖化、それから中学校向けに未来とエネルギーの利用とそれぞれ3時間程度のものしかないので、なかなか取り上げにくい部分も正直あります。それに対して市の資料は身近なものを使っていますので、学校とすればどうしてもそちらのもので学習を進めるということになります。

委員

環境教育のところで、環境というものをどうとらえるのか、どういう枠組の中でとらえるのかということで、県からは環境教育に対して、狭い範囲での指示提示しかない、それを市の方はちょっと広めて取り組みやすくしている、そういう部分も含めた中での評価でないと、いつになってもこの数値は何の変りもないと思います。環境教育は学校独自でやっているもの、ゴミの減量とかゴミへの取り組みとか日常の中のものを含めた中でどう取り組んでいるのかということで数値をあげていくことはできると思います。分別についてどうしているのか、どうしてキャップを提供しているのか、日常の中で生徒会とか児童会とかで独自にしているところもある、そういうことで関心を高めるといことも一つの方法として含めていくと評価も上がるのではないかと思います。数値が低いということが独り歩きしたときにいろいろなものが出てくるのでその辺も含めて、今後の取り組み、評価への課題

かと思えます。

事務局 指標の概要はなかなか変更が難しいということが委員会の事務局の中であります。説明の際には低くなった理由と実際の取り組みの状況を付け加えるということが必要だと思えます。

教育長 今後の方向として環境の範囲とか、市と学校とのつながりとかを含めて考えていくと数値も上がるのでは思えます。

他にありますか。

一 同 異議なし。

事務局 (資料説明)

委員 学校ホームページの閲覧状況の数にあまりこだわる必要は無いと思います。規模の違う学校、児童数の違う学校があるので、一つの枠の中でするより、学校ごとの割合、児童数に対して何割なのかとかたちでの数値の方がいいのではないかと思います。学校規模があまりにも違いすぎて、例えば敷島北小と南小で同じ指標では大変な状況かなと思います。あまり閲覧状況についてこだわることはないと思います。多いに越したことは無いということでもいいのではないのでしょうか。

事務局 また、これも指標の設定の仕方に少し配慮がなかったかなと思いますが、これも簡単に変えられる内容でないので近づけるように努力をしたいと思えます。

教育長 閲覧が多くなるとか、少ないとかそういう本質的なものも必要じゃないかと思えます。

他にありますか。

一 同 異議なし。

事務局 (資料説明)

教育長 ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

事務局 (資料説明)

教育長 ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一 同 異議なし。

事務局 (資料説明)

教育長 ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一 同 異議なし。

(2) 学校基本調査集計表について

事務局 (資料説明)

教育長 ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一同 異議なし。

(3) チャレンジデー2016の結果について

事務局 (資料説明)

委員 甲斐市への参加報告の方法が3つくらいあったかと思いますが、今回、インターネットで報告させていただいたのですが、甲斐市のホームページを開いたら、トップページから報告ができなかったのですが。

事務局 ホームページの中段にバーがありましてそこから入れるようにしてありました。分かりづらくて申し訳ありませんでした。来年、改善等の検討をいたします。

委員 報告の手段の割合はわかりますか。どういう方法で報告をする人が多いのかわかれば教えてください。

事務局 今、終了したばかりで、そこまで調べてないので、また調べておきます。

委員 対戦都市はどのようにして選ばれるのですか。

事務局 笹川財団で前年の参加率が同じくらいのところということで対戦相手が決まるようです。

委員 人口規模と参加率ということですね。

事務局 もともと人口規模がありまして、その中で前年どのくらい参加率があったのかを含めた中で対戦相手が決まります。

委員 財団の方から決まってくるのですね。

事務局 そんな形で決めているようです。7万人程度の人口の中でどのくらいの市が参加しているか確認して、その中で前年の参加率が60%台とか70%台とか同等のところを対戦相手に決めているようです。

委員 今年はかなり参加率がよかったですね。来年はこの高い参加率のところと競うということになるのですかね。

ご苦労様でした。

委員 大館市と事業の内容をお互いに報告しあうのですか。

事務局 事業の内容は基本的にはホームページで知ることになり、大館市のホームページを見るとわかるようになっています。

首長同士でエール交換を電話でするのですが、お互いにどんなことをしているのか話はしています。私たちは相手方のホームページを見させていただいてどんなことをしているのか確認をしております。

事務局

市長が大館市の市長をよく知っておりまして、大館市は秋田県ですが、県下25市町村が参加しているということで、ほとんど全県下が参加していることとなります。山梨県は甲斐市と南部町だけということで、近隣の市町村に応援に来てくださいと言えます。その最たるが消防団ですが、甲府市、中央市、昭和町の消防団に来ていただいて竜王小学校でエアロビをしましたが、これがカウントされますので参加率が得られます。大館市はそういうことはできないので、自分たちの市だけの取り組みとなるので数字が得られないというところがあります。

他のところの応援が得られないので厳しいと大館市長もおっしゃっていたそうです。

委員

大局的に考えた時にこの笹川財団がやっている事業は、日本人の健康、健康寿命にどれだけ貢献しているのかという数値的なものがみえてくれば、もっとスポーツに対しての貢献度が出てくるのではないかと思います。これだけの人間が何かをするということの大きなきっかけづくりとして、このチャレンジデーというものは非常に価値があると思います。地域がまとまるとか、一つのものに取り組んでいく、つながれている、つないでいるという思いをすると、今後いい影響が甲斐市にも出てくるという気がします。そういう数値が出てくると面白いと思います。

日常の散歩をするとか、多くの人とスポーツをしながら楽しむとかのきっかけとなります。

勝ったところに、グランドゴルフの用具など軽スポーツの備品の寄付とか助成がいただけると、それがきっかけでスポーツ振興になりありがたいと思います。

委員

午後5時以降に人数が増えたというのは何かあるのでしょうか。

事務局

企業、スーパーとか終了の時間が7時以降とか遅い時間になるので、この時間に数字が伸びました。

事務局

自治会で一番多かったのはラジオ体操ですね。

全体の中でも半分以上は自治会です。

委員 私の自治会のような小さいところでは年寄りが多いですが、70代、80代の方が、公会堂まで歩いてくるのも大変です。でも、みなさん一生懸命やって笑顔がよかったです。

教育長 他にありますか。

一同 異議なし。

(4) 平成28年度甲斐市立図書館特別整理期間について

事務局 (資料説明)

教育長 質問、ご意見はございますか。なければよろしいでしょうか。

一同 異議なし。

(5) 6月の行事予定について

事務局 (資料説明)

事務局 甲斐市特別教育講演会の説明

教育長 質問、ご意見はございますか。なければよろしいでしょうか。

一同 異議なし。

○閉会

事務局 本日、本定例会に付議された議案の審議を全て終了したので本定例会の閉会を宣する。

閉会時間 午前11時5分